



松橋支援学校 広報誌

新年度のスタートにあたり

校長 甲斐 憲彦

第50号

平成29年

5月発行

熊本県立
松橋支援学校

〒869-0543

宇城市松橋町

南豊崎252

TEL 0964-32-0729

初夏のさわやかな風が新緑の若葉を揺らしています。平成29年度は、小学部4人、中学部2人、高等部普通科8人、高等部専門学科18人、高等部氷川分教室14人の新入生を迎え、昨年より11人多い総勢136人の児童生徒でスタートしました。

昨年は、新学期が始まって間もないこの時期に「熊本地震」が起こりました。日々、試行錯誤の連続で対応にあたる中、多くの方々から温かい励ましの言葉をいただき勇気づけられたことを思い出します。穏やかな新学期のスタートができた今年は、その有難さを改めて感じているところです。

本校は、肢体不自由のある小学部から高等部までの児童生徒と軽度の知的障害のある高等部生徒と一緒に学ぶ学校、寄宿舎と高等部の分教室がある学校として、幅広い多様な教育を行っている県内でも珍しい特別支援学校です。昨年、創立50周年という記念する節目を越え、また新たな歴史を刻み始めたところです。

さて、今年度の重点的な取組のひとつに、昨年の「熊本地震」を踏まえ、防災等の危機管理体制の構築を図るため、「防災

型コミュニティ・スクール」を進めます。行政の防災担当の方などによる学校運営協議会を設立して、防災マニュアルの見直しや災害時の避難所としての学校の役割等についてご意見をいただきます。市役所や警察署・消防署の防災担当、また地域の区長さんや消防団、学校評議員の皆様には、ご多用の中、ご協力をよろしく願います。

もうひとつは、特色ある学校づくりの環境として、パラリンピックの競技である「ボッチャ」に全校児童生徒で取り組む予定です。この競技は、もともと肢体不自由のある人たちの競技ですが、専門学科や氷川分教室の生徒の皆さんにも参加してもらい、障がいの種類を越えて互いの良さを認め合う機会になればと考えています。今後は、保護者や地域の方にも参加いただき、ボッチャ競技をとおして交流の輪を広げていきたいと思っています。

本年度も、全教職員が「心を一つに、力を合わせて」取り組みますので、保護者や地域の皆様のご理解とご協力をよろしく願います。

熊本地震から1年

心のサポート授業



熊本地震前震より1年となった4月14日、高等部専門学科では「心のサポート授業」安全・安心の生活のために」を行いました。授業の冒頭には、犠

牲者追悼式に合わせ全員で黙祷を捧げました。まず「心と体の振り返りシート」を利用し自分自身の心と体の状態を確認しました。そして最近感じたイライラや不安を振り返り、その対処法やレジリエンス（自己回復力）の築き方について学びました。それから筋弛緩法や腹式呼吸といったリラクゼーションの方法を体験し授業を終えました。生徒たちは楽しみなが真剣に授業に参加しました。



小学部対面式



4月20日に、4人の新1年生と新しく小学部に来た先生との対面式を行いました。式は児童会長の元気なあいさつで始まりました。新入生の自己紹介では、カードや音の出るおもちゃを使ってそれぞれの名前と好きな物を発表しました。初めての発表にもかかわらず、大勢の前でマイクに向かって話したりスイッチを押したりと、元気な姿が見られました。先生の自己紹介では、それぞれ名前と好きな物を伝えた後、トーンチャイムとウクレレを使って「ドレミの歌」と「きら星」を披露しました。

寄宿舎 歓迎会



4月11日、入学式を終え寄宿舎生活が始まった新入舎生21人を迎え、歓迎会を行いました。前半は先輩たちによる、寄宿舎で引き継がれてきた「松養太鼓」の演奏で始まり、緊張しながらも寄宿舎生活で頑張ることなどを発表しました。中には人気お笑い芸人のまねで自己紹介する生徒もいて、大変盛り上がりました。後半は歓迎夕食会で、ちらし寿司や唐揚げにデザートといった特別メニューを、会話を楽しみながらいただきました。



歓迎夕食会 メニュー

全校集会



4月18日に今年度初めての全校集会を行いました。中学部生徒会が司会進行を行い、22人の新入生を迎えて対面式を行いました。新入生の自己紹介では、名前や趣味、これから頑張りたいことなどを発表しました。そして、高等部生徒会長からは「皆さんが楽しく学校生活を送れるように、お手伝いします。みんなが主役の松橋支援学校をつくりましょう。」と歓迎の言葉がありました。



氷川分教室だより



14人の新入学生を迎えた氷川分教室では、4月21日に歓迎レクリエーションを行いました。学校周辺の9カ所の事業所にご協力いただき、スタンプラリーを行いました。前日の雨天で心配しましたが、当日は天候に恵まれ、絶好のレクリエーション日和の中、学年を縦割りにした6つのグループを作り、それぞれで行動しました。生徒たちは初めて歩く道に戸惑い、出会う方々に緊張しながらも、元気にあいさつを交わしてスタンプをもらっていました。生徒たちは少し疲れた様子でしたが、無事やり遂げて笑顔で学校に到着しました。

